

## 建学の精神・教育理念・教育目的・教育目標

### ◇ 建学の精神

# 以和為貴

本学の前身である愛媛女子短期大学は、今から50年前に、現代社会にとって最も大切と考えられる“和の精神”を尊び、新しい歴史を開拓し文化を創造することを期して、「以和為貴」（わをもってとうとしとなす）とする大和（だいわ）の旗印を建学の精神として掲げて、風光明媚で人情豊かな宇和島の地に学舎を開きました。

本学では、この「以和為貴」という建学の精神のもとに、家庭的な少人数教育による和（なごみ）の生活と学習を通して、清純・誠実・明朗で調和のとれた豊かな人間性を備えた日本女性を育てることを目標としています。

### ◇ 教育理念

本学では、上に述べた建学の精神のもとに以下の3つの教育理念を掲げて、人間生活に必要な教養と専門的基礎知識を身に付けた人材の養成を目指しています。この教育理念は、学生・直接教育に携わる教員・大学運営にあたる職員の三者が互いの役割を果たすことによって、はじめて実現することができます。

「国際教育 (International Education)」

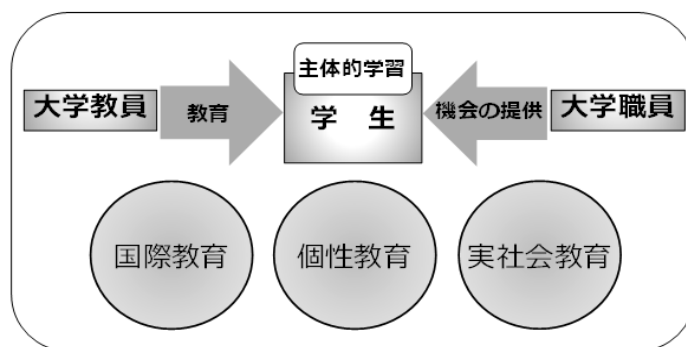
実体験や学習を通してあらゆる人に、その国籍に関係なく、同じ人間として共感できる感受性を育てることを目標として教育する。

「個性教育 (Individualistic Education)」

人が他人と共有できることは何かを模索する中で、本来の自己を見いだせるように教育する。

「実社会教育 (Career Education)」

各人が社会の仕組みや社会人のマナーを体得し、具体的な生活の目標を定められるよう教育する。



## ◇ 教育目的

近年、発達心理学において「発達」という言葉は成長という意味合いでとらえられることが多くなり、衰えていく過程も含めて「生涯発達」ととらえる考え方が浸透してきています。人間の一生をこの「生涯発達」の視点で捉え、乳幼児期、児童期、青年期、中年期、老年期の歩みにおいてより良い人間発達とは何かと考えると、どの時期においても心身ともに健康であることが大切だと言えます。人が心身ともに健康であるための要素としてスポーツ（運動）は非常に重要であり、なおかつスポーツは心身の発達にめざましい影響を与えるものです。

そこで人間発達学科では、人間の発達とそれを支援する専門知識を修得し、人間行動理解の基礎を形成するとともに、さらなる付加価値として、本学の教育活動として力を入れてきた福祉やスポーツの支援・技術を修得した人材を養成することを教育の目的としています。

## ◇ 教育目標

さらに人間発達学科では、所属する学生を、子ども教育専攻・ベネッセスタイルケアコース・健康スポーツコースのいずれかの専攻もしくはコースに所属させ、以下の能力を身につけた人材を育成することを教育の目標としています。

### (1) 子ども教育専攻（指定保育士養成施設）

子ども教育専攻では、本学が西日本で唯一、同一キャンパス内に附属幼稚園と社会福祉法人元気の泉が設置する元気の泉保育園を有する利点を活かして、保育現場で日々求められる即戦力を重視した学びを実践しています。日々園児たちと接する機会に恵まれ、毎日が教育実習・保育実習のような環境の下で保育士・幼稚園教諭を目指して経験を重ねるだけでなく、それぞれの得意分野をもった保育者を育成するために、本専攻には以下の3つのサブコースが設置されています。

#### ①子どもアートコース

子どもが豊かな感性や表現力を育むためのサポートができる保育者を目指して、表現活動を通して子どもたちとコミュニケーションできる保育者を養成することが本コースの教育目標です。

幼児の造形表現を創造性豊かに発展させるには専門的な技術が必要です。この技術を修得するためにパネルシアターやオペレッタなど工夫を凝らして自作し、本学内外の幼稚園や保育園、福祉施設などでの公演活動を行うことによって、子どもたちとのコミュニケーション能力を身につけることができます。

#### ②子ども心理コース

核家族が一般的となった現代社会のニーズをしっかりとキャッチし、子どもや保護者の心に寄り添い、子どもの心と体の発達や保育について乳幼児期の特徴を心理的側面から理解し、子育てに不安を抱える家族を支援し、乳幼児の健やかな成長をサポートできる保育者を育成することが本コースの教育目標です。

そのために、キャンパス敷地内に併存する本学の附属幼稚園・元気の泉保育園と連携して、それぞれの園児を対象に観察や各種検査の補助などを行うことを通じて、心理検査の知識や技法、カウンセリング技法を習得することによって、保育現場のニーズに応えられる心理学の知識と技能を身につけることができます。

#### ③ヨコミネ式教育法コース

子どもたちの運動・あそびの“場を創る”ことができ、そのための示唆を伝える“心と技”をもった保育者が求められています。そこで、本学のカラーを活かしながら、子どもたちが「心の力、学ぶ力、体の力」を身につけられるよう、一人一人の子どもの特徴を理解し、発達段階に応じた指導ができる保育者を育成することが本コースの教育目標です。

そのために、子どもの身体面・精神面の発育発達を理論的に理解しながら段階的に指導する技法や実践活動の場で応用力や総合力を自発的に養わせる「ヨコミネ式教育法」のメソッドを導入し、実践園での現場実習体験を通じて子どもの興味、関心、育まれる感性を実感することによって、子どもの目線に立った指導ができる能力を身につけることができます。

## (2) ベネッセスタイルケアコース

少子化、高齢化などさまざまな問題を抱えた現代社会において、人々が人生を豊かにするために成長し続け、安心して暮らすことができる社会の実現に寄与できる有能な人材の需要は益々高くなってきています。本コースでは、介護業界最大手企業であり、介護施設や保育園を全国に展開している（株）ベネッセスタイルケアとの産学連携に基づいて子どもから高齢者まで幅広い世代の方と触れ合いながら人間の成長過程を幅広く理解するとともに、幼児教育の範疇に止まらず、介護分野の知識と確かな技量を身につけて人々を支援することができる、礼儀正しく、人間性と感性の豊かな人材を育成することが本コースの教育目標です。

そのために、施設実習だけでなく、保育・介護の最前線で働くスタッフを年間を通して特別講師として招聘し、現場での実例紹介や従事者として必要な思いや理念等について実践的なディスカッションを行うことによって、介護のプロになるために必要な考え方や意識を身につけることができます。

## (3) 健康スポーツコース

現代社会ではスポーツや健康に対する関心が急速に高まっている。そのような中、子どもの成長・発達および中高年者の心身の健康を考える上で、スポーツの果たす役割の重要性が広く認識されるようになってきています。そこで、子どもの心身の健やかな成長と健康の維持増進に関する幅広い知識、スポーツの実技と指導法を学び、幼児教育のみならず、優れたコミュニケーション能力と豊かな人間性を身につけたスポーツリーダーとなれる人材を育成することが本コースの教育目標です。

## (4) 国際コミュニケーションコース

本コースは外国人留学生のために開設されたコースであり、日本語を習得し、日本の文化に親しみ、ビジネス及び国際関係に必要な専門的知識を身につけることによって、日本の4年制大学への3年次編入、日本および母国において日本語を活かした就職ができる人材を育成することを目的としています。